

まったなし！ 住まいの耐震化

上部構造評点(最小値)

0.33

事例20

シェルター設置事例

(耐震シェルター設置支援事業)

■建物概要

建築年 昭和57年12月
構造 木造2階建て
延床面積 約115㎡

■工事概要

1階6畳間の寝室に耐震シェルターを設置し、隅にあった出入り口を押入れ中央に移し、両側に新たに収納を設ける事で使い勝手を良くしました。

■工事期間 20日

■工事費

総工事費 168万円
補助金 80万円
自己資金 88万円

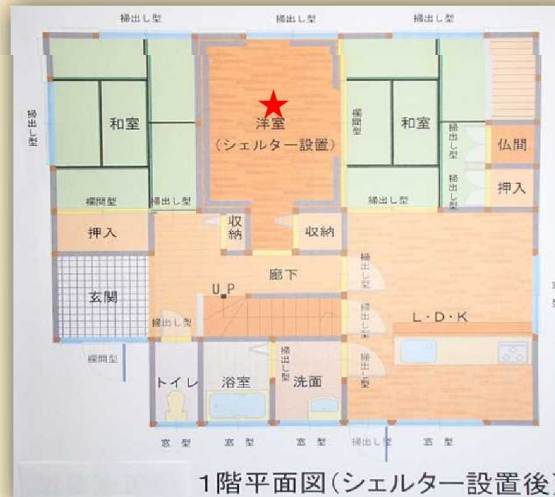
◆診断・計画・工事施工共：

一級建築士事務所
リフォーム工房佐式

徳島県木造住宅耐震スーパーバイザー認定事業所

■所有者の感想

診断の結果「倒壊する可能性が高い」と出た事と、過去に白蟻被害を受けている事もあり耐震シェルターを選択しました。
今では、大きな地震に怯えることなく安心して就寝しています。
また、費用の約半額を補助金でカバーすることが出来たので大変助かりました。



■工事内容

- ①シェルター設置土間コンクリート打設
- ②耐震シェルター設置(6畳サイズ)
- ③シェルター内の床・壁・天井を改装
- ④収納2箇所新設
- ⑤シェルター設置箇所白蟻防除薬

■施工者の工夫(改修ポイント)

過去に白蟻被害を受けていて家全体の被害状況を把握するのは難しく、耐震シェルターを提案しました。また、工事中土壌処理はもちろん、床・天井解体時に既存土台・梁への白蟻防除を実施し、隣接納戸の床・天井にメンテ用として点検口を設けました。

改修前



改修後



ポイント1

※シェルター設置前に白蟻防除



ポイント2

※新たに収納を設けた



(平成30年度実績)

事例21

【住まいの安全・安心なリフォーム支援事業事例集】

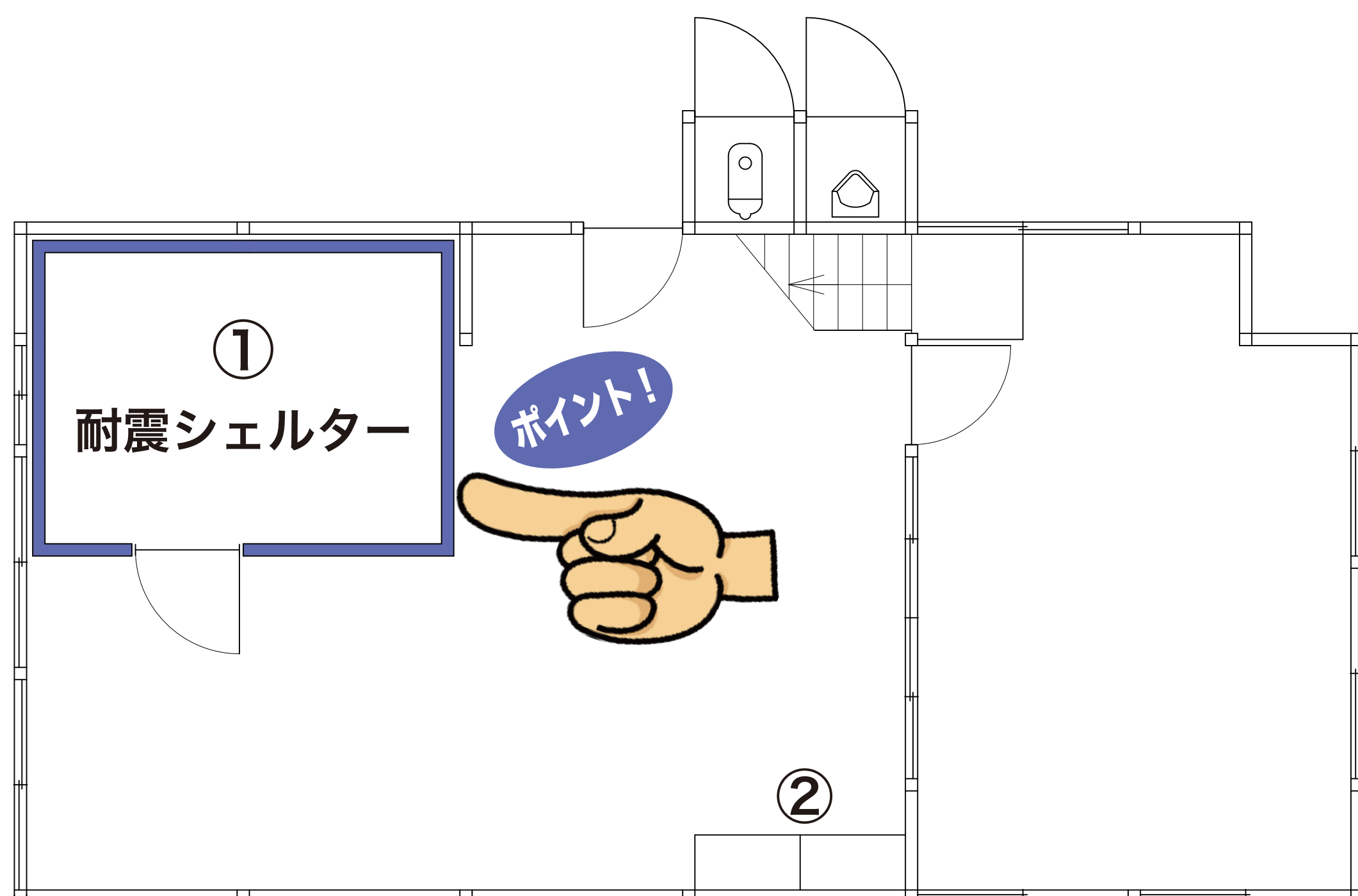
耐震シェルターを寝室に

建物概要

木造 2 階建 築 42 年
延べ床面積 120 m²
(36.3 坪)

工事内容

普段の生活には 2 階を使っていましたが、1 階で寝起きをしたいと考えるようになり、広い空間が確保されている 1 階に『耐震シェルター』を設置し、大地震へ備える事にしました。



- ① 耐震シェルター設置
- ② 家具固定 **必須!**

改修前



ポイント!

耐震シェルター設置



改修後



工事費	総工事費 1,110,000円
	補助金 40万円
	自己負担 71万円
工事期間	約2週間
耐震効果	耐震シェルター設置
	改修前0.36点 改修後0.36点

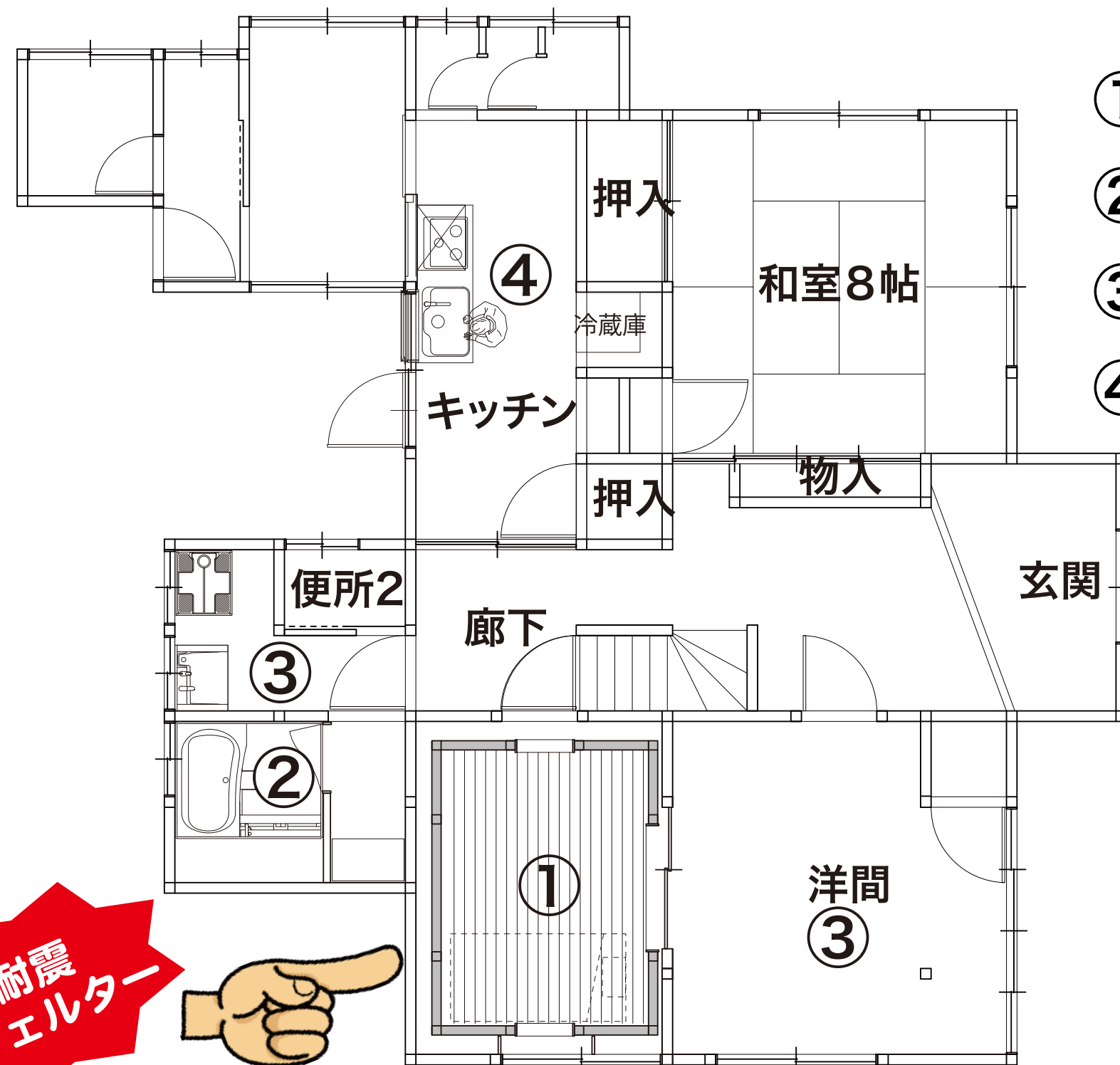
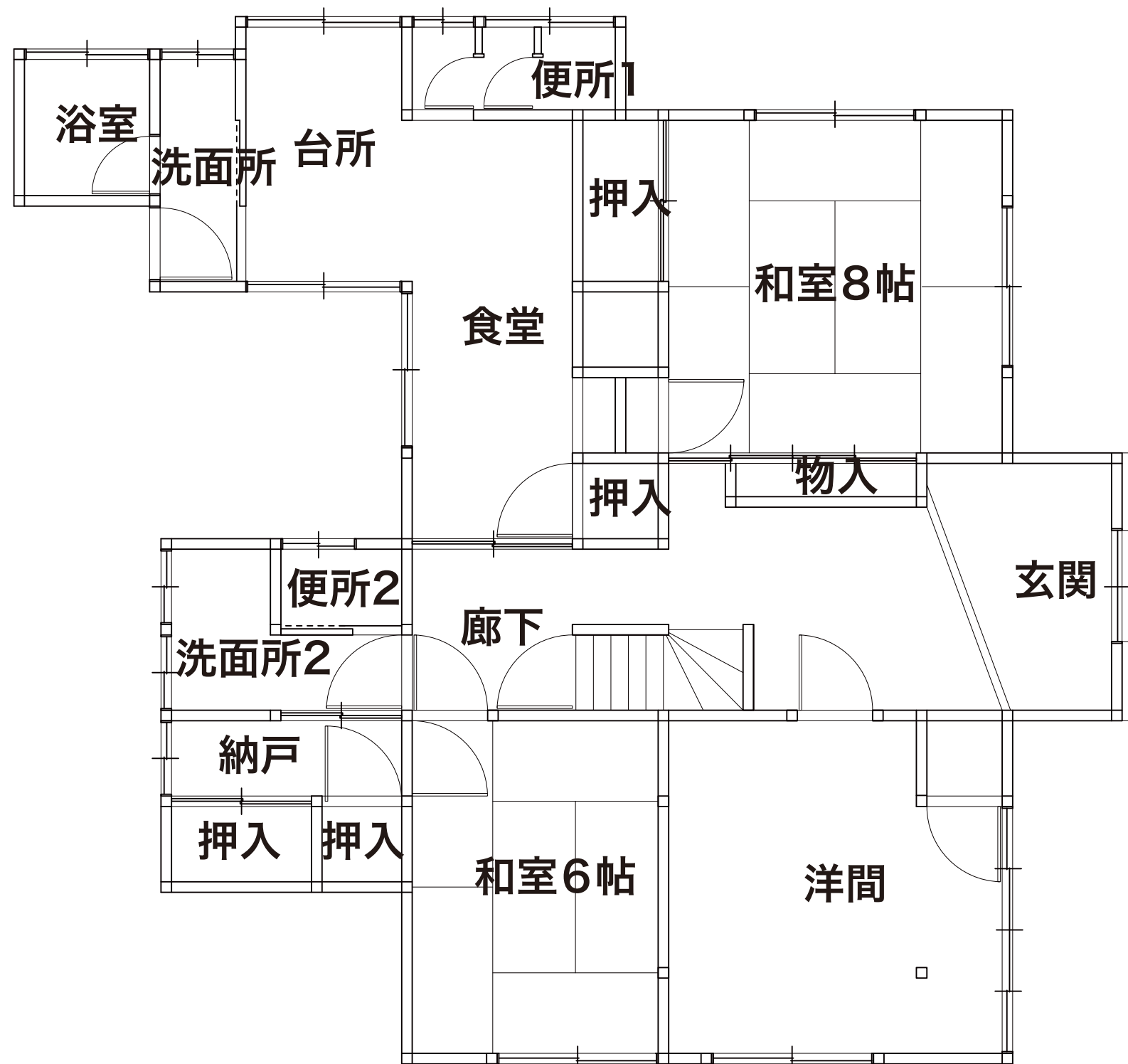
耐震シェルターの設置と間取り変更

建物概要

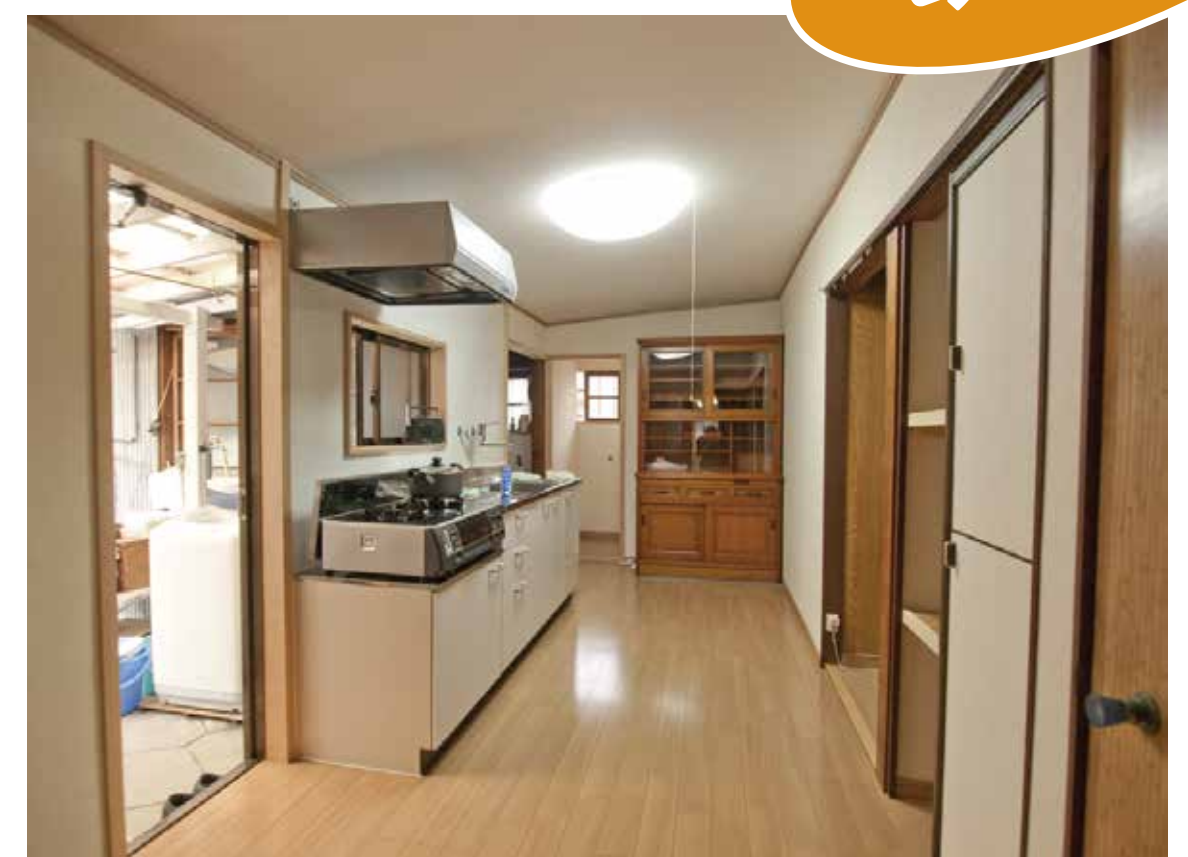
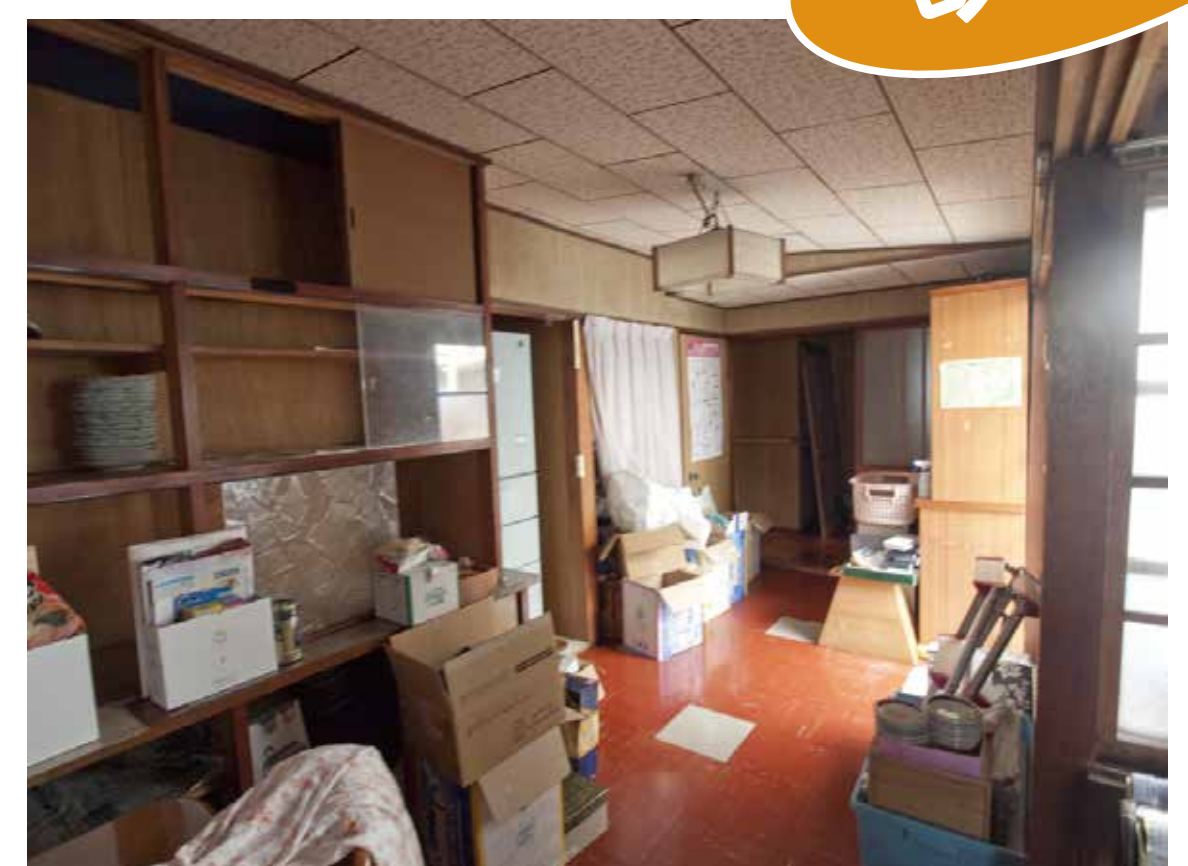
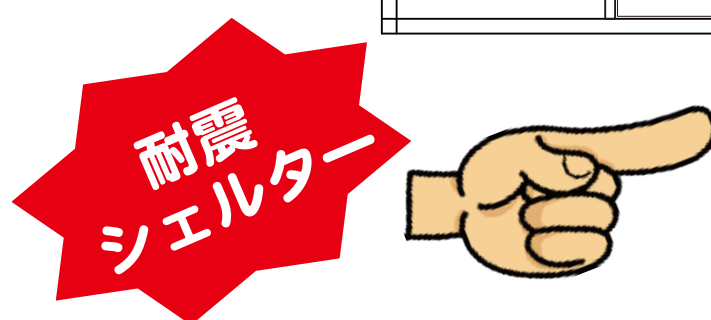
木造 2 階建 築 41 年
延べ床面積 107 m²
(32.3 坪)

工事内容

建物が玉石基礎のため建物全体で耐震性を適合させるのが難しかったので、寝室に耐震シェルターを設置し地震にそなえる事にしました。あわせて、水廻りを集約しコンパクトに生活出来るように間取りを変更しました。



- ① 耐震シェルター設置
- ② ユニットバス設置
- ③ 内装リフォーム
- ④ キッチンリフォーム



寝室へ耐震シェルターを設置して地震に備える

工事費 総工事費 3,730,000円
補助金 50万円
自己負担 323万円
工事期間 約1か月
耐震効果 耐震シェルター設置
改修前0.40点 改修後0.40点